

## 平成 30 年度 保育園・学校課題検討委員会（第 9 回）会議録（概要）

1 開催日時 平成 30 年 8 月 10 日（金） 午後 6：30～8：00

2 場 所 飯山市役所 4 階 全員協議会室

### 3 会議の経過及び発言

#### 1 開 会

#### 2 教育長挨拶

みなさん、こんばんは。

今年は大変な暑さで、学校での子どもたちの状況も、いろんな点で課題があるかと思えます。そのような中で、検討委員会も本日で 9 回目になるわけですが、今日の私の話はあくまでも、私が現在考えている大きな構想であるというようにご理解いただいて、決して、市や教育委員会の方針ではないということで、ご理解いただきたいと思えます。

まず、結論から申し上げますと、委員の皆様には学校見学や様々な数字をご覧いただき検討いただく中で、現状のままではいけないということをご理解いただいた中で、譲れない点を申し上げますと、統合を想定してこれから方向性を出していかざるを得ないということです。

現在、中学校 2 校、小学校 7 校がございます。保育園は別に置いておきます。

この 2 校、7 校をどのような適正規模、適正配置にするかということでございます。

本日の資料で、中野市、山ノ内町の統合時の基本方針が出されますが、どちらも国の大きな基盤があるわけですが、飯山市は独自の特性、地域性、地域的な背景がございます。それを踏まえて考えた場合に今の中学校 2 校、小学校 7 校体制というのを、第一段階として中学校 2 校、小学校 4 校。当然、時代経過により小学校 4 校というのも考えなければならない時期が来ると思われますので、その時期に第二段階として中学校 2 校、小学校 2 校。さらに 10 年後 20 年後を考えた時には、中学校 1 校、小学校 2 校というのが最終的な着地点になるのではないかと考えております。これは、あくまでも私の大きな構想ですので、基本方針を策定する中で、皆様のご意見をまとめ上げて答申というものを決めていかなければならないと思えます。

現在、一番大変な基本方針を市長へ報告することとなっておりますが、報告後は、この課題検討委員会とは別の統廃合検討委員会を作りまして、具体的にどこの小学校をどうするのかという具体的事例を詰めていくこととなります。今までの統廃合の流れ、特にうまくいかなかった自治体の例をみますと、議会の理解、市の理事者理解が必要だということです。教育委員会制度が変わりまして、市の教育方針の最終決定というのは総

合教育会議というところで決まるようになります。統廃合検討委員会で詰めたものが、議会委員会、全員協議会で承認いただいた後、総合教育会議で承認されることとなります。ポイントは第三段階の市民・地区等への説明です。岡山小学校の時は1校ではありましたが岡山地区全集落での住民説明会・保護者説明会を私個人で呼ばれたのも含めまして十数回実施しております。

7校区小学校がありますから7つを一つ一つ回って、ご理解をいただくというのは非常に時間がかかりますし、懇切丁寧に進めていかなければいけないと思っております。

そこで理解が得られずパブリックコメント等で見直し案がでてくることも当然あると思います。統廃合設置委員会の方針がスムーズに受け入れられれば、そのまま次の段階へ進むわけですが、けして、そのようには進まないものと理解しております。

統廃合設置委員会で練り直し、再度、議会委員会へ回り、全員協議会へ回り、総合教育会議にて承認を得て、統廃合の具体案が決まってくるものとなります。

次に具体的な準備委員会が設置され、校歌やPTA、通学方法等を検討する場が積み重ねられ、そうして方向性が決まってくることとなります。

それから、今、私自身が考えておりますのは、最終的に小学校が南と北に1校ずつになるとしたら、やはり新設の小学校を作らざるを得ないのではないかと思います。

その南北どちらが先かという難しい問題もあるかと思いますが、環境整備をしっかりとって統廃合のご理解をいただくというのが前提になるのではないかと思います。

ざっとお話しましたが、軽く4年5年かかることは、私自身、覚悟しておりますし、理解しております。ただ、ほかの自治体のように一番気を付けなければならぬのは、統廃合の問題が政争の具にならないようにしなければいけないということ。そうしないと教育の問題がおかしな方向へ向いてしまいます。あくまでも子どものため、子どもたちの未来のため、そしてこれから生まれてくる子どもたちのためだということを基本にしっかりと据えて、この課題検討委員会、その後の統廃合検討委員会が政治の政争の具にならないように皆様と力を合わせて方向性を見極めながら、しっかりと出していきたいと思っております。いずれにしましても今お話ししたのは、私自身が考えている状況です。こうしたことを踏まえ、新しい義務教育の在り方である義務教育学校を見学したり、あるいは新しい教育を取り入れているところも見学できればいいなと考えております。中等教育学校の見学が終わった段階で、今、私がお話しした内容のようなタイムスケジュール案を皆様にご提示して、忌憚のない皆様のご意見をいただき、進めていきたいと考えております。いずれにしましても本日は、中野市と山ノ内町の統廃合の委員会での段階での資料を提示しますので、皆様の検討材料としていただければと思います。

答申に向け、少しずつ進めてまいりたいと思っております。よろしく申し上げます。

### 3 委員長挨拶

皆様、一日のお仕事の後、お疲れさまです。

今、教育長から近い将来の教育環境についての考えが述べられまして、今年になり皆様から頂戴した意見が、かなり含まれてのお考えかと感じております。

あまり時間をかけると子どもたちにしわ寄せがいくことは、皆様ご承知の通りですので、可能な限り速やかに教育環境を整えていくように皆様のご意見、また答申に向けたご審議をお願いできればと存じます。

なお本日は、先日の小中学校を見学いただきました感想、ご意見、また、近隣の資料も提示されますので、そのあたりのご意見も頂戴できればと思っております。

それでは、よろしくお願いいたします。

### 4 会議事項

#### (1) 小中学校視察の感想について

##### (A 委員)

先生方も、あの暑い環境、工夫して授業に取り組まれているのだと感じました。

小学校も中学校も英語の授業というのは、もっとゲームのような進め方かと思っておりましたが、想像していたよりも高度な授業内容で、ALTの授業も、自分たちの頃とは雲泥の差であると感じました。自分の子どもの頃は、果たして、先生方は授業教材の準備なんてしていたのかな、と思ってしまいましたが、今思えば、当時から準備されていたのでしょうか、今はそれ以上に準備しないといけないというか。

仮に生徒が15人であろうと、30人であろうと、やることは全く同じですので、先生方も大変になってきているなと感じました。

##### (B 委員)

まずあの暑さを何とかしてやりたいなと感じました。子どもたちも大変でしょうけれど、先生方もあの環境での授業は体力的にも大変だろうなと感じました。

今、教育長から、いずれは統廃合という話もありましたが、統廃合もあると思うと、もったいないかもしれないけれども、来年度に向けてまずはエアコンをお願いしたいなと思いました。

常盤小学校では低学年の1、2年生は下校後でいませんでしたが、どのクラスも先生二人体制で授業しているのがいいなと思いました。授業内容について、わからないと感じた時に子どもたちが同時に手をあげても、すぐに対応できている。前回か前々回の検討委員会で教員加配の状況について、飯山市はとても手厚いと聞いたが、ぜひ続けてほしいなと感じました。

##### (C 委員)

授業を見て感じたのは、子供たちが生き生きとして、目を輝かせて授業している様子を見られてよかった。校長先生が「学力向上というのは、まず教師が授業改善に取り組むことが大事ではないか」とおっしゃられていましたが、それが授業としてあらわされていて、指導力の向上が学力向上にもつながると、きちんとそうしたものを掲げた学校づくりが大事ではないかなと感じました。そうした点を今後も期待したい。

小学校の加配は、本当に適正になされているのか、適正に活用されているのか疑問を感じました。情緒障がい児学級または自情症学級については、県により加配教員が配置されるが、一日の大半を取りだし指導で個別にやらなければ大変だということで、学級が設置され加配されているのにもかかわらず、原級で授業を受けているという状況であれば、そうした自情症学級はいらぬのではないか。そうした現状はどうかかと感じました。英語の授業については試行錯誤の段階だと思いますが、一人はしっかりと授業し、もう一人は子供たちの中に入り、サブティーチャーとして、わからない生徒の疑問を使いながら対応するチームティーチングができているのかどうかという点を疑問に感じました。

#### (D委員)

掃除が行き届いていて、すごいなと感じました。

使用していない教室がいくつかあったのは、もったいないなと感じました。

別の話になりますが、6月末に飯山市PTA連合会の前段で、教育委員会との話し合いの場がありまして、教育委員さんに教育について聞きたいことはないかという懇談会を開催させてもらったんですが、ほとんどの学校が、学校の補修・修繕中心の話題になっていて、「トイレ直してくれ」「網戸付けてくれ」「雨漏り直してくれ」。

少しは学習の面についても触れられてもいましたが、ということつまり、そうした予算が必要になってきている。そうした面からも、早めに統合し、新しい校舎にエアコンもつけてもらった方が費用も掛からず良いのかなと感じました。限られた予算の中で「今年は、どの学校のこれを直します。来年は、あの学校のここを直します」でもよいですが、終わった時には新たに次のところが傷んでいる、という状況ではないかと思いました。市内どこの校舎を見ても傷んできていると感じますので、いずれということであれば、早めに新しい学校を作っていただいたほうが建設的かなと感じました。

#### (E委員)

自分の子どもが卒業した中学校を視察しましたが、昔と変わらないなと感じました。ただ、昔は授業参観でも壁に張り付かないと、教室の後ろまで子どもたちの席があったのが、今は少なくなったと感じました。

常盤小ランチルームでは児童全員の似顔絵と、短冊があつて、全員の姿が見られるよ

うに工夫されているのだと感じましたが、それは人数が少ないからできることでもあり、メリットもあればデメリットもあるのかと感じました。

(F 委員)

中学生が真剣に授業に取り組む様子を見られてよかった。

ただ、城北中も常盤小も、これ以上人数が減ったら、こうした姿も見られなくなるのかなとも思い、早めの適正規模が必要なのではないかと痛切に感じました。

(G 委員)

こうした機会でもないと城北中学校や常盤小学校を見る機会がないので、教室の作りが独特だなと感じました。工夫されているところも多いのかなと感じて帰ってきました。少ないから丁寧な対応ができるのか、もう少し大勢の中で育ったら、また違うのかなと、昔の常盤小学校は人数も多かったなので、そんなことを感じました。

## (2) 小中学校の課題整理、今後の検討課題について

### 【小学校児童数・学級数の見込み】事務局説明

(C 委員)

先ほどの教育長あいさつで、第一段階として小学校4、中学校2という数が出されましたけれども、小学校4というのは、およそ今から何年後というのは何年度ぐらいのことを想定しているのかお聞かせいただきたいと思いますが。

(教育長)

基本的に飯山小・秋津小・木島小は100人以上の規模を維持しているので、一堂にとするのは難しいと考えています。

(委員長)

今、おっしゃられた3校プラス1校を第一段階の計画として4校と想定されているということですね。

(C 委員)

私は、教育内容というか統合するのであれば小学校2、中学校2が良いと思っています。そうなった場合に二つの小中学校で学習の連携がしやすくなるということです。

どういった学校を作るかと想定したときに、飯山の小中学校のアピールとなるような学習の連携が取れると良いと思います。一貫教育とまでは言わないですけども、連携

が取れるような組織的な仕組みというのでしょうか。

(委員長)

ありがとうございました。教育長の挨拶にありました第3段階と言いますか、当然そうした方向を考えてのお話だったかと思います。貴重なご意見ありがとうございました。他にご意見はございますか。

それでは次第(3)として近隣の状況を資料として用意いただきましたので事務局説明をお願いします。

(3) 近隣の参考事例等について

P 3～10【参考資料 中野市】

P 11～23【参考資料 山ノ内町】事務局より説明

(委員長)

中野市、山ノ内町どちらもご苦労があり、山ノ内町は答申後にスムーズには進まず、大変時間がかかっていますが、時間がかかっているうちに子どもたちは成長します。地域間の確執という表現が説明にありましたけれども、皆様、近隣の状況を踏まえていかがでしょうか。可能な限りすみやかに子どもたちの環境を整えていきたいところではあります。皆様いかがですか。

(H委員)

感じたことを申し上げたいと思います。いずれにしろ、この委員会では答申まで求められておりますので、課題整理をしていかないと次の段階に移れないと思います。

論点整理をした場合、1つには小学校は12学級が前提で語られていますが、この管内で見た時に、これをクリアしているのは飯山小学校だけで、ほかは1学級ごとの積み上げでしかないわけで。これを地域に返すというのは大変なエネルギーが必要になる。

1学級の最小単位が長野県の場合は30人。2学級にするには31人。31人になった時の1学級人数というのは15-16人。まず、15、16人の在り方を見た場合に、15人以下の学級を作ることが良いことなのかどうか、という点の整理をしてから次にいかないと。

たとえば現行の数字を作ったところで、将来は減ってきてしまうというところで、15人をどう考えるか。飯山小においても平成32年度においては、1学級になる学年がある。また、ある学校では複式学級も見えているという状況の整理が必要ではないかと。

目標が高ければ時間がかかるというところで喫緊の課題を見つけて整備し、さらに最終目標に向けた課題整理が必要かと思います。

もうひとつ、私たちの地区のコミュニティが学校に依存している部分が非常に大きい。

学校施設の夜間開放を活用した活動や、防災の避難所協定になっている施設がある。  
それがなくなるということでは、地域との結びつきが大きい分、影響も大きく時間もかかるのではないかと思います。子どもたちの教育環境を考えた時に何がベターなのか。整理が必要なのかと思いました。

(A委員)

次回、視察も予定されているようですが、そうすると検討委員会は10月となると、区長会は交代もみえてきて、1月から新たな区長は就任してすぐ答申を求められる。であれば、検討委員会も現委員メンバーであるうちにある程度の答申がだせるように、この検討委員会自体のスピードを上げてもらった方がよいのではないのでしょうか。  
早い段階で進めていただければと思います。

(委員長)

お二人の委員さんから貴重なご意見をいただきました。

まず論点整理としまして、学級の最低人数15-16人をどう考えるのかという、皆さん、ご異論ないと思いますけれども、これを割らないような数、ということ念頭に置かれていると感じております。またA委員さんが言われた、できるだけ早いうちに答申に向けてというご意見。これは私も、同感でありまして、2年目に入っておりますけれどもPTA関係、区長会関係の皆様は、ガラッと入れ替わりますので、できるだけ現委員の皆様顔ぶれのうちに答申の目途がつけられれば良いのかなと感じております。

本日いただいたご意見を踏まえて、事務局で次回のところで方針といいますか、たたき台というようなものを、お示しできるように検討いただきたいと存じます。  
ほかに皆様、ご意見ございますか。それでは事務局からお願いします。

(事務局)

P24【信濃町立小中学校】事務局説明

(委員長)

視察につきましては、日程調整のうえ、事務局から通知していただきます。

10月に予定される検討委員会スケジュールについては、当初15回ということが書かれておりますが、先ほど委員の皆様より早めては、との意見もありましたので、事務局で検討いただければと思います。

(I委員)

本日、答申まで時間を早めた方がよいという中で、15人以下がどうなのか、わからな

い。こうしたことを言ってよいかと思うが、各学校、何人以下であると、どのくらいのコストがかかって、どのくらい税金が費やされているというような資料も示してもらった方が良いのではないのでしょうか。少人数のメリット・デメリットは前回は聞かせていただきましたが、結局どっちつかずになっている。遠くなるとなれば反対する人も、もちろん出る。1校にまとめた時に、どれくらい税金がかかり、経費が浮くのか。浮いた経費がエアコン等に使える、より環境が整うというような提示があった方が検討しやすいと思いますし判断しやすいと思います。

児童生徒数が減るというところは資料でも示されていますし、わかるのですが、運営のなかで、コスト面というのも一つの判断基準であると思いますので、出していただければと思います。親御さんにもこのくらいかかるんだよというものを説明しながら進めていくべきではないかと思いました。可能であれば、教育費が決められているものかどうかも分かっていないのですが、そのあたりのコストも踏まえたうえで進めていただければなと思っています。

(D委員)

学校と教育委員会との懇談会の中で、スクールバスについて検討委員会で話しますとの回答をいただいているので、議題ではないですが取り上げていただきたいと思います。

(教育長)

今のスクールバスの現状でよろしいですか。何台あって、どのように運行しているかという。

(D委員)

特に冬期間の吹雪の中を、席が空いているスクールバスに乗せられないのかという意見も聞いております。また、事実かどうかはわかりませんが、バスに乗車するのであれば年間を通して乗らなければいけないというようなことも聞いていますので、状況等を聞かせていただければと思います。乗車基準は教育法等の規則を基にしているのだろうとは思いますが。

(委員長)

今、委員さんがおっしゃられたことについては前委員さんからも頂戴しておりまして、柔軟性等検討いただけないかと言われております。

(J委員)

近隣の状況説明をいただきましたが、私も中野市の方針が出されたときに、突然のことのように感じたのを覚えています。実際にはこのように検討を重ねたうえで、あのよ



うに出てきたことだとしても、公にでてくるタイミングというのはどうしたものかな、ということを感じました。

このように検討されていることを、ホームページに掲載されているということではありますが、そうしたことを住民のみなさんが知っているかどうか。公に出た時に、初めて聞いたというようなことにならないように、途中経過を、私は校長会として出ていますので、機会があるところで、こうした話し合いの場が持たれているというようなことを、それぞれの立場においても知らせていくことが必要なのかなということを感じました。

(K委員)

こうした会議で、当日、資料が配布されても、その場ではすぐに意見が出てこない。会議が終わって、自宅に戻って、言いたかったことがでてきても、次回の会議では伝える場がない。

可能であれば会議通知の際に、次回の内容について概要のようなものをお知らせいただくなり付けていただければ、自分の考えもまとめていけるし、会議自体もスピードアップするのかなと感じております。

## 5 その他

信濃町立小中学校視察及び第10回検討委員会について、日程等詳細は改めて通知することとし、閉会。